

ブログと国会会議録における敬語使用の比較

- 「来る」の尊敬語を例として -

魚 秀 禎*

本稿では、2011年のヤフーのブログと国会会議録のデータを用いて、インフォーマルな場面とフォーマルな場面における敬語使用の違いについて分析する。具体的には、「来る」の尊敬語の形と頻度や「来る」の動詞に「くださる(いただく)」の補助動詞が接続した表現を比較分析する。

本稿の分析によると、「来る」の尊敬語の形としてもっとも多く使われたのは2011年のヤフーのブログと国会会議録のいずれにおいても、「(ら)れる系」である。ただし、国会会議録における「(ら)れる系」の使用率(33.0%)はブログにおけるそれ(52.2%)より低い。また、ブログでは「いらす系」が21.1%を占め、「(ら)れる系」と「いらす系」を合せると、全体の約7割に及ぶ。これに対し、国会会議録においては「(ら)れる系」を除けば、ブログに比べると、特定の尊敬語に片寄りなく、多くの表現が使われている。尊敬語に補助動詞をつける場合、ブログでは「いただく形」より「くださる形」が頻繁に用いられるのに対し、国会会議録ではほとんど「いただく形」が使われる。また、尊敬語に補助動詞をつける場合、ブログと国会会議録のいずれにおいても、もっとも丁寧な表現の「お～になっていただく(くださる)」より「お～いただく(くださる)」の形が多く使われる。

キーワード： ブログ、国会会議録、敬語、尊敬語、謙讓語、特定形

1. はじめに

一般に敬語は場面の構成者となる話し手、聞き手、及び話題の人物の間の人間関係によって大きく影響を受ける。また、菊地(1997)が指摘しているように、場面の構成者が同じであっても、場面が公的な場面か/私的な場面か、すなわち改まった場面か/くだけた場面かによって、敬語の使い方が大きく変わってくる¹⁾。こうした観点から、

* 啓明大学校 教育大学院 日語教育 助教授

1) 菊地(1997, pp.43-57) を参照されたい。

本稿はインフォーマルな場面とフォーマルな場面における敬語の使い方を明らかにすることに目的がある。

ところで、1990年代以降、全国紙の新聞記事テキスト、『CD-ROM版新潮文庫の100冊』などの電子媒体の言語資料を用いて日本語研究を行うことが多くなっている²⁾。また、近年では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』、『Yahoo!知恵袋』、国会会議録などのWeb上のデータが日本語の分析対象となっている³⁾。

本稿においても、ヤフーのブログと国会会議録に記録されているテキストデータを用いて敬語分析を行う。そして、本稿では、個人的な思いや考えを気軽に書くヤフーのブログで使われる敬語をインフォーマルな場面での敬語、国会で国会議員や全国民を対象とした発言で使われる敬語をフォーマルな場面での敬語として見做して比較分析を行う⁴⁾。

具体的には、ヤフーのブログと国会会議録から敬語を検索し、それを比較分析する。ヤフーのブログにおいて記事の検索は期間を設定して検索できるが、検索可能な期間は2005年から現在までである⁵⁾。ただし、検索結果の内容は1000件に制限されている。また、国会会議録検索システムでは、第1回国会(1947年5月開会)以降の全ての本会議、委員会等の記事を会議名、発言者名、発言内容等で検索できる⁶⁾。本稿で分析対象とする用例は2011年のヤフーのブログと国会会議録に出現した尊敬語である。

具体的には、「来る」の動詞を取り上げ、ヤフーのブログと国会会議録に出現する尊敬語の形や頻度について分析する。また、「来る」の動詞に「くださる(いただく)」の補助動詞が接続した場合についても同様に分析を行う。

2) コーパスを利用した日本語の研究については田野村(2009)を参照されたい。

3) 国会会議録を用いた日本語の研究については松田(2004)、松田編(2008)を参照されたい。

4) フォーマルな場面における敬語の変化についての時系列分析は魚(2013)を参照されたい。

5) ヤフーのブログ(<http://blogs.yahoo.co.jp/>)を用いて記事検索が行われた時点は2013年12月20日である。

6) 「国会会議録検索システム」は<http://kokkai.ndl.go.jp/>のサイトで利用できる。

2. 調査対象と調査方法

本稿での目的は、ヤフーのブログ(<http://blogs.yahoo.co.jp/>)と国会会議録検索システム(<http://kokkai.ndl.go.jp/>)で公開されているデータを用いて、インフォーマルな場面とフォーマルな場面における敬語使用の違いについて調べることにある。

調査方法は「来る」の尊敬語として、ヤフーのブログと国会会議録に出現した表現の語形の種類と頻度を調べ、その特徴を分析することによって、敬語使用の違いを明らかにする。また、検索する尊敬語の用例は、魚(2012)と同様に、特定の語形(特定形)と、広くいろいろな語に適用できる一般的な語形(一般形)のすべてが調査対象となる⁷⁾。具体的に「来る」の尊敬語としては、「見える」「運ぶ」「越す」「いらっしゃる」「いらす」「おいでる」「来られる」の7つの形を取り上げる。また、これらの本動詞に補助動詞(もらう/くれる)を付けた表現も調査対象に含める。調査するに当たっての具体的な用例については魚(2012)を参照されたい。

検索結果の集計に際しては次のような方法で行う。第1に、「現在形」と「過去形」の区別や「だ形」と「ます形」の区別は行われず、同じ形として扱う。第2に、動詞がいくつかの意味合いで使われる場合には、検索結果のうち尊敬語として使われた用例のみをカウントする。第3に、第2の場合、ヤフーのブログでは検索結果の内容が1000件までしか表示されないため、また1000件のうち該当する用例の割合を計算し、それを総件数に乗じて出現件数を求める。

3. 分析結果

3.1 ブログと国会会議録に出現した尊敬語の種類

2011年のブログと国会会議録に「来る」や「来てもらう(くれる)」の

7) 尊敬語の分類については文化庁(2007、pp.1-70)を参照されたい。

敬語として出現した語形は、「見える形」、「お運び形」、「お越し形」、「おいで形」、「いらっしゃる形」、「いらす形」、「来られる形」の7つの形である。本節では、2011年のブログと国会会議録において、「来る」の敬語として出現した用例を語形別にまとめて分析する。

まず、〈表1〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「見える形」の用例を集計したものである⁸⁾。2011年のブログと国会会議録に出現した「見える形」の用例の総件数はそれぞれ5,064件、237件である。2011年のブログにおいて、「見える形」の用例のうち、「来る」の尊敬語として使われた用例は5,048件であり、「来てもらう(くれる)」のように「本動詞+補助動詞」の形として使われた用例は16件である。さらに、「来る」の尊敬語として使われた用例のうち、「見える」の用例は2,742件であり、54.3%を占めている。

〈表 1〉「見える系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞 のみ	見える	2,742	54.3	35	16.9
	お見えだ	278	5.5	53	25.6
	お見えになる	1,636	32.4	117	56.5
	見えられる(誤用)	392	7.8	2	1.0
合計		5,048	100.0	207	100.0
本動詞 + 補助動詞	お見えいただく	11	68.8	26	86.7
	見えいただく(誤用)	0	0.0	1	3.3
	お見えになっていただく	1	6.3	3	10.0
	お見えくださる	4	25.0	0	0.0
	お見え願う	0	0.0	0	0.0
合計		16	100.0	30	100.0
総計		5,064	-	237	-

8) 「お見えになる」の尊敬語の形の中には、終止形と連用形、過去形と非過去形、仮定形、未然形が含まれている。なお、他の尊敬語の形にも同様にカウントしている。

「見える」を「お～だ」「お～になる」「～(ら)れる」の形に変換した「お見えだ」「お見えになる」「見えられる」の用例はそれぞれ278件(5.5%)、1,636件(32.4%)、392件(7.8%)があった。すなわち、「来る」の尊敬語として「見える形」を使う場合には、「見える」と「お見えになる」がもっとも頻繁に使われており、約9割を占めている。なお、〈表1〉において「見えられる」は二重敬語であり、一般に誤用とされている。

これに対し、2011年の国会会議録においては、「来る」の尊敬語として使われた「見える形」の用例の総件数は207件である。また、「来る」の尊敬語として使われた形は、「見える」「お見えだ」「お見えになる」「見えられる」の用例がそれぞれ35件(16.9%)、53件(25.6%)、117件(56.5%)、2件(1.0%)があった。すなわち、2011年の国会会議録においては、「来る」の尊敬語として「見える形」を使う場合に、もっとも多く使われた形は「お見えになる」、「お見えだ」の順になっており、それぞれ約6割、約3割を占めている。

ここで、2011年に出現したブログと国会会議録「見える形」の用例を比較すると、次のような特徴がみえる。第1に、「来る」の尊敬語として「見える形」を使う場合に、ブログでは、「見える」が約5割でもっとも多く、次に「お見えになる」が3割を占めている。これに対し、国会会議録においては「お見えになる」が約6割を占め、「お見えだ」と「見える」がそれぞれ約2割、3割となっている。一般的に、「見える」に比べ、「お見えになる」が相対的に敬度の高い尊敬語と感じ取られるが、〈表1〉はブログより国会会議録でより敬度の高い尊敬語が使われていることを示す。

また、2011年のブログと国会会議録において、「見える」が補助動詞(もらう/くれる)と一緒に使われる時には、いずれの場合も「お見えいただく」の形が最も多い。

〈表2〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「運ぶ形」の用例を集計したものである。「運ぶ系」が「来る」の尊敬語として2011年のブログと国会会議録に出現した総用例はそれぞれ121件、11件である。このうち、本動詞のみで使われた用例はそれぞれ、41件、2件であり、補助動詞(もらう/くれる)と一緒に使われた用例はそれぞれ80件、9件となっている。すなわち、お運び形が「来る」の尊敬語として

使われる場合には、ブログと国会会議録のいずれの場合にも、本動詞のみではなく、補助動詞と一緒に使われることが多い。

〈表 2〉「運ぶ系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞 のみ	お運びになる	12	29.3	1	50.0
	お運びになる	27	65.9	0	0.0
	お運びをされる	2	4.9	1	50.0
合計		41	100.0	2	100.0
本動詞 + 補助動詞	お運びいただく	48	60.0	9	100.0
	お運びくださる	32	40.0	0	0.0
合計		80	100.0	9	100.0
総計		121	-	11	-

〈表3〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「お越し系」の用例を集計したものである。2011年のブログと国会会議録に出現した「お越し形」の用例の総件数はそれぞれ5,198件、314件である。本動詞のみで使われた用例はそれぞれ、1,293件、53件であり、補助動詞(もらう/くれる)と一緒に使われた用例はそれぞれ3,905件、261件となっている。

〈表 3〉「お越し系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞 のみ	お越しだ	255	19.7	21	39.6
	お越しになる	1,038	80.3	32	60.4
合計		1,293	100.0	53	100.0
本動詞 + 補助動詞	お越しいただく	1,891	48.4	254	97.3
	お越しになっていただく	2	0.1	1	0.4
	お越しくださる	2,012	51.5	6	2.3
合計		3,905	100.0	261	100.0
総計		5,198	-	314	-

また、ブログにおける「お越し系」の尊敬語の形は、「お越しだ」が19.7%、「お越しになる」が80.3%を占めている。これに対し、国会会議録における「お越し系」の尊敬語の形は、「お越しだ」が39.6%、「お越しになる」が60.4%となっており、ブログに比べ、「お越しになる」の使用率が相対的に低い。

一方、2011年のブログと国会会議録において、補助動詞を使った「お越し系」の用例はそれぞれ3,905件、261件となっており、本動詞のみの用例より、それぞれ約3倍、約5倍ほど多い。また、ブログにおいては、「いただく形」と「くださる形」の使用率はそれぞれ48.5%、51.5%となっており、ほぼ同じ割合である。これに対し、国会会議録においては、「いただく形」の使用率が97.7%を占めており、「くださる形」の使用はほとんどない。

〈表4〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「おいで系」の用例を集計したものである。2011年のブログと国会会議録に出現した「おいで系」の用例の総件数はそれぞれ2,103件、283件である。このうち、本動詞のみで使われた用例はそれぞれ、1,750件、72件であり、補助動詞と一緒に使われた用例はそれぞれ353件、211件となっている。すなわち、ブログでは本動詞のみで使われた用例が圧倒的に多く、国会会議録ではその逆の現象がみられる。

また、ブログにおいて、本動詞のみで使われた用例の場合、「おいでだ」と「おいでになる」の用例はそれぞれ、46.5%、50.3%であり、それほど差はない。これに対し、国会会議録において「来る」の尊敬語として使われているのはほとんど「おいでになる」であり、約9割を占めている。ちなみに、「おいでになられる」は「おいでになる」という「来る」の尊敬語に、尊敬の助動詞「(ら)れる」が付いた二重敬語であり、不適切である。

〈表 4〉「おいで系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞 のみ	おいでだ	813	46.5	7	9.7
	おいでになる	881	50.3	65	90.3
	おいでになられる(誤用)	56	3.2	0	0.0
合計		1,750	100.0	72	100.0
本動詞 + 補助動詞	おいでいただく	132	37.4	202	95.7
	おいでになっていただく	0	0.0	3	1.4
	おいでくださる	221	62.6	6	2.8
合計		353	100.0	211	100.0
総計		2,103	-	283	-

一方、補助動詞と一緒に使われた尊敬語の用例の場合、ブログでは、「いただく系」と「くださる系」はそれぞれ37.4%、62.6%となっており、「くださる系」の使用率が遥かに高い。しかし、国会会議録における「いただく系」と「くださる系」は97.1%、2.8%であり、補助動詞と一緒に使われた用例のほとんどは「いただく系」となっている。

〈表5〉と〈表6〉はそれぞれ2011年のブログと国会会議録に出現した「いらっしゃる系」「いらす系」の用例を集計したものである。2011年のブログと国会会議録における「いらっしゃる系」の出現件数はそれぞれ5,049件、111件であったが、いずれの場合においても、「いただく」や「くださる」の補助動詞はほとんど使われず、本動詞のみで「来る」の尊敬語として使われている。

〈表 5〉「いらっしゃる系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞のみ	いらっしゃる	5,045	100.0	106	100.0
合計		5,045	100.0	106	100.0
本動詞 + 補助動詞	いらっしゃっていただく	0	0.0	5	100.0
	いらっしゃってくださる	4	100.0	0	0.0
合計		4	100.0	5	100.0
総計		5,049	-	111	-

〈表 6〉「いらす系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞のみ	いらす	9,755	100.0	30	100.0
合計		9,755	100.0	30	100.0
本動詞 +	いらしてもらう(誤用)	1	0.0	1	5.0
	いらしていただく	0	0.0	14	70.0
補助動詞	いらしてくださる	4,069	100.0	5	25.0
合計		4,070	100.0	20	100.0
総計		13,825	-	50	-

一方、2011年のブログと国会会議録における「いらす系」の出現件数はそれぞれ13,825件、50件であった。また、2011年のブログにおいて、本動詞のみで使われた用例と、本動詞と補助動詞が一緒に使われた用例の件数はそれぞれ9,755件(70.6%)、4,070件(29.4%)であり、前者が後者より約4割ほど多い。

また、本動詞と補助動詞が一緒に使われる場合、ブログではそのほとんどが「くださる系」であるが、国会会議録では件数は少ないものの、「いただく系」が「くださる系」より多い。ちなみに、〈表6〉において、本動詞だけを敬語化した「いらしてもらう」の表現は一般的ではない。

最後に、〈表7〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「来られる系」の用例を集計したものである。2011年のブログと国会会議録における「来られる系」の用例はそれぞれ34,208件、496件となっている。「来られる系」の用例においては、いずれの場合においても、「いただく」や「くださる」の補助動詞は使われず、本動詞のみで「来る」の尊敬語として使われている。ちなみに、〈表7〉における「来られていただく」のように、「れる(られる)」形の尊敬語に、補助動詞の「いただく(くださる)」を用いるのは標準的ではないとされている。

〈表 7〉「来られる系」の用例

		ブログ		国会会議録	
		頻度	%	頻度	%
本動詞のみ	来られる	34,208	100.0	494	100.0
合計		34,208	100.0	494	100.0
本動詞 + 補助動詞	来られていただく (誤用)	0		2	100.0
合計		0		2	100.0
総計		34,208	-	496	-

3.2 ブログと国会会議録における尊敬語の形と頻度

〈表8〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「来る」の尊敬語の形と頻度をまとめたものである。2011年のブログと国会会議録に出現した「来る」の尊敬語の用例の総件数はそれぞれ65,568件、1,502件である。以下では、2011年のブログと国会会議録に出現した「来る」の尊敬語の形と頻度を分析し、それを通じてインフォーマルな場面とフォーマルな場面における尊敬語の形の違いについて考察する。

〈表 8〉「来る」の尊敬語の種類

	ブログ		国会会議録	
	頻度	%	頻度	%
見える系	5,064	7.7	237	15.8
運ぶ系	121	0.2	11	0.7
越す系	5,198	7.9	314	20.9
おいでる系	2,103	3.2	283	18.8
いらっしゃる系	5,049	7.7	111	7.4
いらす系	13,825	21.1	50	3.3
来られる系	34,208	52.2	496	33.0
合計	65,568	100.0	1,502	100.0

第1に、2011年のブログにおいて、「来る」の尊敬語の形としてもっとも多いのは「来られる系」であり、総件数の52.2%(34,208件)を占めている。次に多く出現するのは「いらす系」であり、21.1%となっている。これらの2つの形を合わせると、約73.3%となる。

これに対し、2011年の国会会議録において、「来る」の尊敬語の形としてもっとも多いのは「来られる系」であるが、総件数の33.0%(496件)を占めている。「来られる系」のほかには、「越す系」「おいでる系」「見える系」の順となっており、その使用率はそれぞれ20.9%、18.8%、15.8%である。すなわち、2011年のブログに出現する「来る」の尊敬語は「来られる系」と「いらす系」に集中しており、特に「来られる系」は全体の約5割を占めている。これに対し、2011年の国会会議録の場合、「来る」の尊敬語として「来られる系」がもっとも多く使われているものの、「越す系」「おいでる系」や「見える系」もそれぞれ約2割を占めている。すなわち、国会会議録ではブログに比べ、使われる尊敬語の種類が多く、それぞれ偏りなく使われている。

第2に、このようにブログと国会会議録のいずれにおいても「来る」の尊敬語としてもっとも頻繁に使われているのは「来られる系」である。一般に尊敬語の形のなかで、「(ら)れる」の形はもっとも敬度が低いが、使いやすさから日常場面で広く用いられるようになり、この点は〈表8〉から確認できる。ただし、近年では、〈表8〉からわかるように、「来られる系」はインフォーマルな場面よりは少ないものの、フォーマルな場面においてももっとも頻繁に使われている。

第3に、ブログにおいて「(ら)れる系」に次いでよく使われるのは「いらす系」であり、総件数の約2割を占めているが、国会会議録ではほとんど使われていない。

3.3 ブログと国会会議録に出現した尊敬語の比較

一般に、動詞を尊敬語に直すには、特定の語形(特定形)を用いる方法と、いろいろな語に共通に適用する一般的な語形(一般形)を使う方法がある。2011年のブログと国会会議録に出現した「来る」の尊敬語は、特定形として「見える」「いらっしゃる」「いらす」が、一般形として「お～だ」「お～になる」「～(ら)れる」などがある。

〈表9〉は2011年のブログと国会会議録に出現した「来る」の尊敬語の形とその頻度をまとめたものである。

〈表 9〉「来る」の尊敬語の形

尊敬語の形		ブログ		国会会議録		用例
		頻度	%	頻度	%	
特定形		22,249	36.3	171	17.8	見える、いらっしゃる、いらす
一般形	お～だ	1,358	2.2	81	8.4	お見えだ、お越しだ、おいでだ
	お～になる	3,582	5.8	215	22.3	お見えになる、お運びになる、お越しになる、おいでになる
	～(ら)れる	34,147	55.7	494	51.4	来られる

2011年のブログにおいて、もっとも頻繁に使用された「来る」の尊敬語の形は一般形の「(ら)れる系」であり、55.7%を占めている。次に多く使われた尊敬語の形は特定形であり、36.3%となっている。これに対し、2011年の国会会議録においては、ブログと同様に一般形の「～(ら)れる」の形が51.4%を占め、もっとも広く用いられている。それに次いで、一般形の「お～になる」と特定形がそれぞれ

22.3%、17.8%となっている。2011年のブログと国会会議録における尊敬語の形を比較すると、いずれの場合においても一般形の「(ら)れる系」がもっとも多く使われている点は共通しているが、「お~になる系」の使用率においては大きく異なる。すなわち、ブログでは「お~になる系」はあまり使われていないが、国会会議録においては「(ら)れる系」に次いで2番目に多く使われている。また、特定形の使用においては、3.2でふれたように、ブログでは「いらす系」が、国会会議録では「いらっしゃる系」が多く使われている。

このように、近年においては、ブログのみならず国会会議録において使いやすさから「(ら)れる系」がもっとも多く使われている。しかし、「(ら)れる系」を除けば、ブログでは「いらす系」が、国会会議録においては「いらっしゃる系」が多く用いられている点からすると、ブログより国会会議録において相対的に敬度の高い尊敬語が用いられていると言えよう。

3.4 「来る」の尊敬語の「いただく形」と「くださる形」

本節では、2011年のブログと国会会議録に出現した「来てくれる(もらう)」の尊敬語の形について分析し、「来る」と補助動詞「くれる(もらう)」の使い方の違いについて述べる。

一般に、本動詞に補助動詞(「もらう」「くれる」)を接続して使う場合の尊敬語の形は次のような3通りがある。第1に、補助動詞のみ敬語化する。第2に、本動詞と補助動詞を同時に敬語化する。第3に、第2の方法において「になって」が省略する。

〈表10〉は2011年のブログと国会会議録に来るの尊敬語に補助動詞(「いただく」「くださる」)をつけた用例を集計したものである。〈表10〉から2011年のブログと国会会議録に出現した「来てくれる(もらう)」の尊敬語の形についていくつかの特徴を読み取ることができる。

〈表 10〉「来る」の尊敬語「いただく形」と「くださる形」の用例

	ブログ			
	いただく形		くださる形	
	頻度	%	頻度	%
見える系	12	0.6	4	0.1
~いただく/くださる	0		0	
お~いただく/くださる	11		4	
お~になっていただく/くださる	1		0	
運ぶ系	48	2.3	32	0.5
お~いただく/くださる	48			
越す系	1,893	90.7	2,012	31.7
お~いただく/くださる	1,891		2,012	
お~になっていただく/くださる	2		0	
おいでる系	132	6.3	221	3.5
お~いただく/くださる	132		221	
お~になっていただく/くださる	0		0	
いらっしゃる系	0	0.0	4	0.1
~いただく/くださる	0		4	
いらす系	1	0.0	4,069	64.2
~いただく/くださる	1		4,069	
来られる系	0	0.0	0	0.0
合計	2,086	24.8	6,342	75.2

	国会会議録			
	いただく形		くださる形	
	頻度	%	頻度	%
見える系	30	5.8	0	0.0
~いただく/くださる	1		0	
お~いただく/くださる	26	-	0	-
お~になっていただく/くださる	3		0	
運ぶ系	9	1.7	0	0.0
お~いただく/くださる	9		0	
越す系	255	48.9	6	35.3
お~いただく/くださる	254	-	6	-
お~になっていただく/くださる	1		0	
おいでる系	205	39.3	6	35.3
お~いただく/くださる	202	-	6	-
お~になっていただく/くださる	3		0	
いらっしゃる系	5	1.0	0	0.0
~いただく/くださる	5		0	
いらす系	15	2.9	5	29.4
~いただく/くださる	14		5	
来られる系	2	0.4	0	0.0
合計	521	96.8	17	3.2

第1に、2011年のブログにおける「いただく形」と「くださる形」の出現頻度はそれぞれ2,086件(24.8%)、6,342件(75.2%)であり、「くださる形」が「いただく形」を大幅に越えている。また、ブログにおいては、尊敬語に「いただく」をつけた用例はそれほど多くなく、しかもその約9割は「越す系」に片寄っている。これに対し、尊敬語に「くださる」をつけた用例は「いらっしゃる系」が64.2%、「越す系」が31.7%となっている。

また、「越す系」において、「いただく形」と「くださる形」を使う際には、本動詞と補助動詞を同時に敬語化したうえで、「になって」が省略する形である「お~いただく」や「お~くださる」の用例がほとんどである。

第2に、2011年の国会会議録においては、尊敬語に補助動詞をつける場合、「いただく形」と「くださる形」の出現頻度はそれぞれ521件、17件であり、ほとんどが「いただく形」である。その際、「いただく形」は主に「越す系」と「おいでる系」に使われており、それぞれ48.9%、39.3%を占めている。さらに、「いただく形」を用いる場合には、「お~いただく」の用例がほとんどである。

以上の分析からわかるように、尊敬語に補助動詞をつける場合、ブログでは「いただく形」より「くださる形」が頻繁に用いられるのに対し、国会会議録ではほとんど「いただく形」が使われる。また、尊敬語に補助動詞をつける場合、ブログと国会会議録のいずれにおいても、「お~になっていただく(くださる)」より「お~いただく(くださる)」の形が多く使われる。これは前者がやや冗長な言い方のため、敬遠されつつある傾向があること、過剰敬語とする人も多いこと、などが原因とみられる。

4. 分析結果と日本語教育への提言

本稿では、2011年のヤフーのブログと国会会議録のデータを用いて、インフォーマルな場面とフォーマルな場面における敬語使用の違い

いについて分析した。本稿の分析によると、「来る」の尊敬語の形としてもっとも多く使われたのは2011年のヤフーのブログと国会会議録のいずれにおいても、「(ら)れる系」である。ただし、国会会議録における「(ら)れる系」の使用率(33.0%)はブログにおけるそれ(52.2%)より低い。また、「(ら)れる系」を除けば、ブログでは「いらす系」が21.1%を占め、「(ら)れる系」と「いらす系」を合せると、全体の約7割に及ぶ。これに対し、国会会議録においては「(ら)れる系」を除けば、「越す系」がもっとも多く使われており、その使用率は20.9%となっている。ただし、「おいでる系」と「見える系」もそれぞれ18.8%、15.8%となっており、ブログに比べると、特定の尊敬語に片寄りなく、多くの表現が使われている。

これらの分析結果と関連して注目すべきは、ヤフーのブログと国会会議録のいずれにおいても、「来る」の尊敬語の形としてもっとも多く使われたのは「(ら)れる系」であるという点である。一般に、「(ら)れる」の形はもっとも敬度が低く、日常場面で広く用いられているとされている。しかし、「(ら)れる」の形は私的場面だけではなく、公的場面の国会での発言においても、もっともよく使われていることが明らかになった。

また、尊敬語に補助動詞をつける場合、ブログでは「いただく形」より「くださる形」が頻繁に用いられるのに対し、国会会議録ではほとんど「いただく形」が使われる。これは、尊敬語に補助動詞をつける場合には、日本人は場面によって「いただく形」と「くださる形」を使い分けしていることを示している。さらに、ブログと国会会議録のいずれにおいても、もっとも丁寧な表現の「お～になっていただく(くださる)」より「お～いただく(くださる)」の形が多く使われていることがわかった。

これらの分析結果は、近年の敬語使用においては、丁寧度の高低よりも使いやすさが重視されていることを意味する。このような日本語の敬語における変化は日本語敬語の際にも十分に反映するべきである。

5. 結びに

本稿では、ヤフーのブログと国会会議録のデータを分析し、インフォーマルな場面とフォーマルな場面における敬語使用の違いについて分析した。コミュニケーションを円滑に行うためには、敬語の使い分けが必要となり、敬語の使い分けの際にもっとも重要な基準の1つがインフォーマルな場面かフォーマルな場面かである。本稿でのインフォーマルな場面とフォーマルな場面での敬語使用の違いについての分析の意義はこの点にある。ただし、敬語の使い方は場面のみならず、世代、性別などにも大きく影響を受ける。今後はさらに、それぞれのデータを世代別や性別に特定化して分析する必要がある。これについての分析は今後の課題にしたい。

参考文献

- 魚秀禎(2012)「国会会議録における敬語使用の実態-「来る」と「行く」の尊敬語を例として-」『日本語学』第57輯, 日本語学会, pp.85-102.
- _____ (2013)「国会会議録における敬語使用の変化-「来る」の尊敬語を例として-」『日本語学』第62輯, 日本語学会, pp.91-108.
- 斉藤信浩(2002)「コーパスを利用した接続助詞「から」と「ので」の文体および待遇表現に関する研究」『日本語学』第18輯, 日本語学会, pp.57-80.
- 菊地康人(1997)『敬語』講談社, pp.29-88.
- 国立国語研究所編(1957)『敬語と敬語意識』国立国語研究所報告11、秀英出版, pp.37-41.
- 田野村忠温(2009)「コーパスと文法研究」『国文学解釈と鑑賞』第74巻第1号, pp.79-87.
- 文化庁(2007)「敬語の指針(答申)」pp.1-70.
- 松田謙次郎(2004)「言語資料としての国会会議録検索システム」『Theoretical and applied linguistics』No.7, pp.55-82.
- 松田謙次郎編(2008)『国会会議録を使った日本語研究』ひつじ書房, pp.7-272.
- 国会会議録検索システム(<http://kokkai.ndl.go.jp/>) (2013年2月15日)
- <http://blogs.yahoo.co.jp/> (2013年12月20日)

성 명(한 글) : 어 수 정

(한 자) : 魚 秀 禎

(영 문) : Eo, Soo-Jeong

논문영문제목 : Comparison of Honorific Expressions in the Minutes
of the National Diet and Blog - The Case Study
of the Honorific Expressions of 'KURU' -

소 속 : 계명대학교 교육대학원 일어교육 조교수

E-mail : eo-soojeong@hanmail.net

투 고 일 : 2014년 3월 27일

심사개시일 : 2014년 4월 3일

심사완료일 : 2014년 4월 29일